

令和 7 年度第 5 回国立市学校給食運営審議会議事録

1. 日時 令和 8 年 6 月 25 日（木）午後 2 時から午後 3 時 40 分まで

2. 会場 くにたち食育推進・給食ステーション会議室

3. 出席者 【委員】

小畑会長、藤村副会長、藤田委員、上野委員、田中委員、市田委員、松ノ木委員、宿利委員、中島委員、笠井委員、二俣委員、栗原委員、木曾委員、里道委員、鎌田委員（15 名）

【事務局】

伊形食育推進・給食ステーション所長、久保所長補佐、長野主査、津田統括責任者、善当調理責任者兼副統括、鈴木副調理責任者

4. 欠席者 山浦委員、青木委員、堀端委員

5. 傍聴者 なし

6. 配布資料

(1) 令和 7 年度事業報告（令和 8 年 2 月 26 日から令和 8 年 6 月 24 日まで）

(2) 令和 7 年度学校給食費決算報告書

(3) 令和 7 年度事業総括

7. 内容

議題

(1) 事業報告について

事務局から配布資料に基づき、説明を行った。

【質疑応答要旨】

● 4 月の親子で School Lunch は 27 日の間違いではないか。（二小田中委員）

● 指摘のとおりで訂正する。（事務局）

(2) 令和 7 年度学校給食費決算報告について

事務局から配布資料に基づき、説明を行った。監査委員から監査報告があった。

【質疑応答要旨】

● 報告書 1 ページの差引残額約 900 万円は昨年度の約 100 万円に比べると多いが、今後どのように処理されるのか。また、同ページの過年度給食費について、金額が大きいのので注目されがちだが、実際のところは給食費の収支に影響は無いという説明が以前あり、そのことを注釈として記載してはどうか。（三小市田委員）

● 差引残額は令和 8 年度公会計化したため、市の歳入として処理する。金額としては昨年度が非常に少なっただけで例年同様の数字となっている。注釈については内容含め今後検討させてほしい。

(事務局 A/I～次回決算報告書作成時)

- 牛乳を飲まない子は配膳後にビンを戻しているようだ。担任からアレルギーではなくても牛乳除去ができるという話を聞いたがそういうシステムはあるのか。公に周知はしているのか。(八小笠井委員)
- アレルギーではなくても牛乳除去できる仕組みはある。ただ、市としては牛乳の飲用を推奨しているので積極的な周知はしていない。(事務局)
- 献立の工夫でコストを削減したというが、献立作成委員会と実際の献立作成はどのように関係しているのか。(八小笠井委員)
- 献立作成員会は原則毎月開催しており、児童生徒からの前月の献立の感想と翌月の献立への意見を保護者を通じて聞いており、献立へ反映できるものは反映している。(事務局)

(3) 令和7年度事業総括について

事務局から配布資料に基づき、説明を行った。

【質疑応答要旨】

- 地場野菜の使用率が昨年度よりも上昇している。この調子で 20%目指して取り組んでほしい。小学校新一年生向けの給食時間栄養士調理員訪問はとてありがたい。また、子供が中学生になってさらに給食時間が短くなってしまった。運動部の男子もかきこんで食べていて、栄養士の方にも見に来てほしい。最後に、去年学級閉鎖がかなり多かった印象だが余ってしまった食材をフードパントリーなどに出された場合があるのか教えてほしい。(二小田中委員)
- 魚やパンのように保存が効かないものを主に提供していて、そのほか賞味期限が迫っているもの、例えばジャムやふりかけなども提供している。(事務局)
- 1年生の給食訪問は行っているようだが、他学年は訪問しないのか。また、給食時間が短いことについて以前も審議会で話題にしたが結局その後どうなったのか教えてほしい。(三小市田委員)
- 新一年生の給食開始日はトピックとして報告したが他学年も同様に訪問はしている。中学校も同様である。(事務局)
- 令和10年度の学習指導要領の改定に向け、一コマの時間を5分短くしてコマ数を増やすという動きがある。その増やしたコマ数の中で学校の裁量に任されるような時間についての議論もあり、その中で給食の時間についても検討できる可能性はある。また、審議会で給食時間の短さについて議論があったことは、校長会でも報告させてもらっている。(小畑会長)

- 引き続き審議会の意見として学校に対して訴えていってほしい。(三小市田委員)

(4) その他

- アクションアイテムの振り返りは行わないのか。これまでのものを一覧にして、対応したのかしていないのか総括したものを示してほしい。また、給食を2回試食させてもらったがとても良かったので、毎回審議会で試食できるようにしてもらえればうれしかった。(三小市田委員)
- アクションアイテムの総括は改めて行いたい。後日メールで進捗一覧を報告させてもらう。(事務局 A/I～議事録確認時)

この後、各委員から1年間の感想をいただき、多くの委員から、給食現場の安全管理や栄養士・調理員の丁寧な取り組みに対する感謝と、給食が児童生徒の健やかな成長に寄与していることへの信頼が寄せられた。中には、審議会は保護者と学校側が対話できる貴重な場であり、保護者の集まりでステーションをPRしてはどうかと意見があった。最後に、会長より、今回の審議会での建設的な意見は、校長会を通じて各学校へ共有し、学校給食の改善に活かしていく旨の結びの挨拶があり、全議題を終了した。

以上

学校給食運営審議会アクションアイテム処理状況一覧

令和 8 年 7 月時点

No.	発生回	内容	処理期限	処理状況	処理内容
1	R7 第 1 回	事業計画に新しい取組を区別して記載する	令和 8 年度事業計画案作成時	済	新取組は太字で区別した
2	R7 第 2 回	体験ツアーを夏休み以外の長期休暇に実施する	R7 第 3 回審議会	済	事業者と検討した結果、春冬休業期間はメンテナンス等その期間にしかできないことがあり、イベントを行う余裕がないため実施は見送った
3	R7 第 2 回	収支状況報告で予算の執行計画に対する執行状況をグラフ等で見える化する	2 学期収支状況報告作成時	済	報告書内にグラフを掲載した
4	R7 第 2 回	収支状況報告で一食当たりの給食実費と主食（米、パン、麺）の回数を記載する	2 学期収支状況報告作成時	済	報告書内に記載した
5	R7 第 3 回	視察結果をまとめる	第 4 回議事録確認時	済	報告書を作成した
6	R7 第 4 回	収支状況報告のグラフを計画に対して執行見込が健全であると分かるように修正する	3 学期収支状況報告作成時	済	グラフを修正した
7	R7 第 5 回	決算報告書の 1 ページ目に過年度給食費に関する注釈を入れる	次回決算報告書作成時	未	
8	R7 第 5 回	アクションアイテムの総括	第 5 回議事録確認時	済	一覧を作成し議事録末尾に掲載した